



平成17年度湯沢砂防公開講座

魚沼自然塾

- Uonuma Nature School -





第4回

テーマ：「わたしの魚沼、再出発！」

平成17年12月17日(土)

於：南魚沼市総合福祉センター(サンライズ南魚沼)



プログラム

12:00 開場(受付開始) フォトコンテスト投票、立体めがね体験コーナー(芋川流域)

13:00 **第1部 ~防災をふまえた地域づくりを考えるゼミナール~**

[ゲスト] 伊藤和明氏、国際大学留学生のみなさん

報告

「南魚沼防災支援センター・防災士について」雪国青年会議所理事長 上村政司氏

チーム対抗 クイズ ~避難地・避難路を考えよう!~

小学生の地域学習紹介

・城内小4年生の川の学習紹介(映像)とインタビュー

・六日町小6年生による震災復興の現地学習についての作文発表

チーム対抗 ×勝ち抜きクイズ ~地域を知ろう!~

報告

「水無川流域の地域づくりについて」八海山麓水無溪谷研究会事務局長 井口優氏

チーム対抗 防災グッズリレー ~つながりを深めよう!~

14:20

講演 「雪と地震・噴火」・・・(雪国の防災のために)

講師 NPO 法人防災情報機構会長・元NHK解説委員 伊藤和明氏

14:50 休憩

15:00 **第2部 ~今年度魚沼自然塾の修了式~**

・第1回~3回魚沼自然塾のダイジェスト映像上映

・砂防質問お答えコーナー

・修了証授与

・フォトコンテスト表彰式、写真家平賀治雄氏による写真の撮り方アドバイス

・塾長挨拶

・アトラクション オペラ合唱団;うおぬまりリカ

16:00 終了

(17:00~ 交流会(*希望者のみ、会費制立食形式) 於:ホテル坂戸城)

主催 - 国土交通省北陸地方整備局湯沢砂防事務所

共催 - 十日町市、南魚沼市、魚沼市、川口町、湯沢町、津南町、長野県栄村、国際大学、(社)雪国青年会議所、(社)十日町青年会議所、(社)小出青年会議所、魚野川を育む会、中津川整備を実現する会

後援 - 新潟日報社、(株)エフエム雪国、(社)北陸建設弘済会

*** 事前アンケートより ***

地域づくりに思うこと

- ・ 被災した地域は生活のありようを大きく変えた。このため生活のリズムも、日々の習慣も変わった。地域づくりもすこしずつ視点を変えて新しい一歩を踏み出すことが必要だ。そのためには、そこに住む人達みんなの知恵が欠かせない。このことが起こりうる災害に備えた防災機能ということだろう。豊かな自然、文化など、地域資源を見つめ直してまた、住んでいる町の魅力を再発見して、それを最小限に生かしていきいきと暮らせる地域づくりを考えていく必要があるのではないか。(川口町 / 男性)
- ・ 町内会の清掃や行事に子供から老人まで一緒に出席し、生活の伝習の場とする。(十日町市 / 男性)
- ・ 地域づくりは『人を育てる 人づくり』です。自らの地域を愛する心を育てる自然塾の役割は、共に地域の人々と行動したことと評価しています。次年度もより成果のある事業を実施してほしいと考えています。(南魚沼市 / 男性)
- ・ 自然を愛する(森林、川等)・・・美意識 乱開発をしない(いたるところに道路等つくらぬ) 災害に対する認識をもって生活する 先人の知恵を尊重する 民族文化の伝承(湯沢町 / 男性)
- ・ 山に降る雨、雪それらが集積して川に流れ込み、あるいは伏流水となって下流に流れて行く訳ですが、今の山の広葉樹を伐採して杉林に植替植林した行政指導が 25 年程前迄主流で作業の保険金も出ましたが、現在の状況にそぐわなく、とても残念に思っていました。元森林組合の職員でしたので、ジレンマに悩まされている現状です。(南魚沼市 / 男性)

わが地域からの報告

- ・ 各自治体が今まで温泉施設やホテルなど多く作りましたが今はどこもお荷物になっています。その原因は高齢化や少子化にあるのも一つですが、リピータの客が少ないのが一番の要因ではないかと思えます。特色があり、リピータを多くするには地域としてどうすれば良いか検討して欲しいと思えます。魚沼市としては文化会館を中心に活性化策を進めています。(魚沼市 / 男性)
- ・ 自然災害がおきたときなど、地域の中で防災についてどのようにしたらよいか、みんなで話し合っていきたい。(川口町 / 男性)

地域や自然塾に対する提案

- ・ 自然塾は素晴らしい社会教育機関です。地域の若者や学生の多数参加を促す運動を推進してもらいたい。(南魚沼市 / 男性)
- ・ 参加者の高齢者が多いが、若い人の参加を希望します。(将来のため)(南魚沼市 / 男性)
- ・ 砂防以外のことも、ふやしてほしい(南魚沼市 / 男性)
- ・ 管内の小中学校、高校に親同伴の参加を呼び掛ける。特に第 1 回は、(回別に)どことこの学校と指名し、参加を呼び掛ける。(十日町市 / 男性)
- ・ 私の住む大白川は、自然がいっぱいです。同塾のテーマの一つに取り上げても不思議ではない。例えば、すでに完成している防災ダムもあり、周辺地等にかかせない。もう一つの山の恵みである大規模な岩石の採取所もある。多少交通の便は悪いが、是非来年度は大白川に来てほしい。(魚沼市 / 男性)
- ・ 自然の中に割って入り込んでいる私達は人間本位の気持ちを考え直さなければならない時期に来ていると思えます。その意味で素晴らしい投げかけをして下さっている自然塾に若い方々の参加を是非、是非呼びかけて、息の長い活動にしていきたいと思います。(十日町市 / 女性)

*** ゲスト紹介 ***

伊藤 和明 先生（NPO 法人防災情報機構会長・元NHK解説委員）

NHKで科学番組・自然番組のプロデューサーを経て昭和53年から平成12年3月までNHK解説委員。各地の災害をわかりやすく解説して来られました。著書に「地震と火山の災害史」「火山 - 噴火と災害」「火山噴火予知と防災」「自然とつきあう」などがあります。今回はチーム対抗クイズのご意見番として、また、ミニ講演では『雪と地震・噴火』についてお話いただきます。

国際大学学生（International University of Japan：IUJ）

国際大学は、浦佐にある大学院大学で、国際社会に貢献するために必要な高度な相互理解と専門的且つ実践的な知識を持つ人材を養成することを目的としています。40カ国以上から集まった200名以上の学生が共に勉強、生活をしています。

今回お招きしたのは、パキスタン、スリランカ、ナイジェリア出身の3名の学生です。

（社）雪国青年会議所（2005年度理事長：上村政司さん）

南魚沼市の誕生により1市1郡の青年会議所となりました。2005年度は「思いやり」をテーマに、人・地域・環境について考え、メンバーが一丸となって地域に根ざした活動を行っています。

八海山麓・水無溪谷研究会（事務局長：井口優さん）

研究会は、水無溪谷の景観保護と八海山麓・水無川流域の有効活用のため、協議検討しながら環境の整備を図ることを目的として、平成元年に地元の有志が集まって発足しました。地域活性化や生涯学習のビジョン提案、川筋の清掃、魚の稚魚放流などの活動を行っています。



*** アトラクション ***

うおぬま L i r i c a

「南魚沼に新しい文化を」という思いにより誕生したオペラ合唱団「うおぬま Lirica」。先月23日には初の自前コンサートが南魚沼市民会館で行われました。現在、団員は30名ほど。中学生から大人まで、月3回の練習を楽しんでいます。

本日は、アベ・デルムコルプス（お祈りの歌）、クリスマスソングメドレーを歌っていただきます。

